

第5回浦和区区民会議 議事録（確定版）

1 日 時：平成 17 年 10 月 20 日（木） 18:30～21:00

2 会 場：さいたま市民会館うらわ 503、505

3 出席者（敬称略）

団体推薦：新井幸芳（青少年育成さいたま市民会議） 大関豊壽（浦和歯科医師会）
小川晃（埼玉中央青年会議所） 小原茂（浦和区自治会） 柿堺一二三（浦和区民生・児童委員協議会） 坂本和哉（浦和区自治会連合会） 大工原潤（元市民懇話会） 大郷恒吉（北浦和 GINZA レッズ商店街） 中島昌男（さいたま市薬剤師会） 藤倉幸親（さいたま商工会議所） 水谷元雄（浦和医師会） 吉野勝則（さいたま市 PTA 協議会浦和区連合会）

公募委員：一柳晶子、岡野昭夫、鈴木隆吉、山本信子

コミュニティ会議委員：秋山忠一（北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブをつくる会） 岡田唯文（コミュニティキャンパス浦和） 丸山繁子（さいたま市リサイクル女性会議・浦和） 吉岡基代（浦和区四星会） 渡辺修（中山道浦和宿二七の市実行委員会）

浦和区長：宮澤健二

事務局：小泉俊一（総括参事） 新藤茂（区民生活部長） 磯部弘（健康福祉部長）
長島光正（区民生活部コミュニティ課長） 佐藤好英、丸山彦文（主幹）
金子秀行（副主幹） 大嶋幸子、小宮慶太（主任）

運営補助：福田律子（システム科学コンサルタンツ㈱）

4 次第

1．開会

2．議事

(1) 助成申請団体（コミュニティ会議）の事業計画について

(2) コミュニティ会議の別称について

(3) 各部会からの報告について

(4) その他

3．閉会

5 内容

議事概要

(1) 助成申請団体（コミュニティ会議）の事業計画について

9月に申請のあった4件の事業計画の説明と、12月に申請予定の「中山道浦和宿二七の市」の中間報告が行われた。

浦和区本太元町地区三世代交流実行委員会「ふれあいコンサート」

（事業概要の説明）

今回の三世代交流事業は、前半・後半にわけ、前半は前回も好評であったグランドゴ

ルフ大会、後半を三世代ふれあい会を開催することとした。グランドゴルフ大会で使用する用具は、平成 15 年度の助成を受けて購入したもので、今回は 100 人の参加があり、大いに盛り上がった。

後半のふれあい会は今年度で 17 回目を迎える地域の行事である。前年までは会食を中心にした催しであったが、今回は、地元出身のプロによるタンゴを楽しみながらの茶話会に変更することとした。タンゴのほか、公民館サークルの舞踊や本太小 1 年生によるピアノの演奏なども予定している。参加者は 600 名を見込んでいる。

(部会の判断について)

グランドゴルフ大会については、開催日が 10 月 15 日であったため、全体会に諮ることができないことから、9 月 12 日の運営部会において意見交換を行い、異存なしとした。

三世代ふれあい会については説明のとおりで、総額 540,000 円のうち 240,000 円の助成を申請している。部会では、お茶などはもっと安く仕入れることができるのではないかと、4 年目以降の自立に向けて、参加費をもらうなど財源確保での自助努力が必要ではないかという意見があった。また、この三世代交流事業が 2 回に分けて申請されていることに関連して、一つの団体が 1 年に複数回申請することが、是か非か、議論になり、できれば 1 度に申請してもらうのがよいのではないかという意見があった。こうした議論を経て、部会としては、費用削減や財源確保の自助努力を促すことを前提として、事業内容には異存なしとした。

(意見交換)

- 団 体：参加費についてのご意見があったとのことだが、開催にあたっては、青少年育成会からもお金を頂いている。育成会は子どもの会費、世帯の会費から成り立っており、間接的ではあるが、参加費をもらっていることになる。
- 委 員：間接的にもらっているというのはわかったが、今後のことを考えると、100 円ぐらいのわずかな額でもよいので、やはりその場での飲食に充てる部分については、参加費をもらうようにするのがよいと思う。
- 議 長：そのほか、なにかご意見は。では、この事業については、部会と同様、区民会議としてとくに異存なしとする。

エコ・グループうらわ「ごみ減量に係る諸事業」

(事業概要の説明)

公民館などを利用して、ごみ減量のための各種講座・教室などを開催する事業である。具体的には、リサイクル講座(いらなくなった布を利用する「布ぞうり講習会」、洋服の「リフォーム講座」、和服のリフォーム講座、小学生向けリサイクル工作教室、廃油石けんづくり、意識啓発のためのキャンペーンとして、リサイクル品(廃油石けんなど)やチラシを配布する活動を行うこととしている。

廃油石けんづくりは非常に好評である。各講座とも参加費をいただくことにしている。また、洋服のリフォーム講座は、今年度、新たに取り組むものである。

(部会の判断について)

この事業については、総額 155,600 円のうち 100,000 円の補助が申請されている。部会の質疑では、これだけの事業を行う積極性やまちづくりへの貢献度は誰しも認めるところで、支援すべき事業であるが、事業計画に開催頻度などを明示してほしい、公民館

事業費でまかなわれる要素があるかもしれないなどの意見が出されたが、事業内容については異存なしとした。

(意見交換)

- 委員：石けんづくりのときに着用するエプロンを購入することになっているが、リサイクルでつukれないのか。
- 団体：薬品を使用し加熱するため、布のエプロンは不向きである。そのため、作業に適したものを購入している。
- 委員：部会の説明では事業収入のうち参加費については12,000円となっていたが、今日の説明資料では13,000円である。どういう経緯なのか。
- 団体：自治会から講座を開催してほしいとの要望があり、開催回数が増えることを見込んだ。
- 部会長：事業の収支については、実施してみなければわからない部分もあり、事業報告の精算書類を事務局が精査するので、大丈夫ではないか。
- 議長：そのほか、なにかご意見は。では、この事業についても、部会と同様、区民会議としてとくに異存なしとする。

いきいき浦和区推進会議「自治会ふれあいサイト構築事業」

(事業概要の説明)

インターネットを活用した地域コミュニティ振興の1つとして、各自治会のホームページ作成を支援するものである。このサイトを活用して、自治会員を中心に、ボランティア団体や多くの住民との情報の共有やコミュニケーションを図り、新たなコミュニティづくりをめざすとともに、行政とのコラボレーション(協働)を実現していきたいと考える。この事業を通じて、これまでに11自治会でホームページが開設されており、今年度は新たに4自治会で取り組むこととなっている。そのためのノート型パソコンの購入、開設・運営のための技術指導、ホームページの雛型の作成などが主な事業内容である。

(部会の判断について)

この事業については、900,000円の補助の申請がなされている。部会では、各自治会でサイトを管理することになるため、知識のある人材の確保が課題である、会長が1年で交代する自治会や小規模な自治会ではなかなか開設は難しい、ふれあいサイトがリンクし、多くの自治会の連携へと広がっていくことが重要といった意見のほか、コミュニティ会議の紹介ができるとよい、ノート型パソコンよりもデスクトップのほうが廉価でよいなどの意見が出された。

区内には89の自治会があるが、より多くの自治会に広がることを期待して、部会としては異存なしとした。

(意見交換)

- 委員：ホームページの活用状況はどうか。
- 団体：例えば、瀬ヶ崎自治会のホームページは、今年の4、5月は月100件程度のアクセスであったのが、現在は1700ぐらいに増えている。地域情報を発信しているので、見に来る人が増えたようだ。

- 委員：区内に 89 の自治会があるそうだが、全部に声をかけて実際の参加がこれだけ（既設 11、今年度開設 4）ということなのか。これからも声をかけていくのか。
- 団体：そのとおりである。今年の事業対象となった 4 自治会も、声をかけて応じたところであるし、来年も呼びかけていきたい。
- 議長：ほかにご意見はあるか。では、部会と同様、区民会議としてとくに異存なしとする。

さいたま市観光ボランティア・浦和ガイド会「ガイド活動初期整備事業」
（事業概要の説明）

本会は今年 3 月に発足して、まだ間もないことから、初期段階に必要な機材等を整備するため、助成を申請した。助成を受け、ガイドマニュアルの作成やガイドマップの作成、広報活動やスキルアップ研修（先進ガイド会の視察など）の実施、ユニホームやガイド会旗の作成、携帯用拡声器の購入などに充てたいと考えている。本日も、国際交流基金日本語国際センターの要請を受けてガイド活動を行った。また、来年 1 月の与野七福神めぐりでは、親子ふれあいウォーキングを公民館と協働で実施し、ガイド活動をする予定である。

（部会の判断について）

この事業については、初期整備経費として総額 525,234 円のうち 500,000 円の申請がなされた。部会では、コンベンションビューローからの助成はないのかとの質問があり、事務局から、現状ではそのような助成はなく、今後なんらかの支援を受けたいとの意向だとの説明があった。このほか、携帯用拡声器はマイクとスピーカーが別になっているガイド用のものがある、などの意見があった。部会としては、今後の活動の継続と充実を期待して、異存なしとした。

（意見交換）

- 委員：ガイドの仕事の引き合いはどのくらいあるのか。
- 団体：これまで 1 件で、もっと PR しなくてはいけないと思っている。説明で申しあげたとおり、与野七福神めぐりの親子ふれあいウォーキングなどの機会を増やして、PR に努めたい。
- 部会長：与野は中央区だが、原則として活動の場は浦和区内と考えてよいか。
- 団体：そのとおりである。また、七福神めぐりも出発点は北浦和からである。
- 委員：私の所属する団体（コミュニティキャンパス浦和）では、「お宝探検隊」と銘打って街を歩き地域を知る講座を開催しているので、ガイド会との交流を持ちたいが、いかが。
- 団体：よいお考えであり、こちらからもお願いしたい。
- 議長：ほかにご意見がなければ、部会と同様、区民会議としてとくに異存なしとする。

次の 、 はスキルアップ事業の申請であり、事務局の説明ののち、運営部会の検討結果が報告された。

ガールスカウト埼玉第三団 <スキルアップ事業>
（事業概要の説明）

ガールスカウト埼玉第三団が発団 50 年記念講演会を開催するにあたっての助成申請である。講演会の総事業費 399,600 円のうち、不足分 70,000 円に充当するものである。

(部会の判断について)

この事業については、事業費の大半がバザー収入でまかなわれており、部会ではとくに質疑もなく、異存なしとした。

(意見交換)

議長：なにかご意見はあるか。では、部会と同様、区民会議としてとくに異存なしとする。

朗読ボランティアグループ木曜会<スキルアップ事業>

(事業概要の説明)

視覚障害のある方に向けて、朗読のボランティアを行っている団体からの申請である。会員の朗読技術の向上のために勉強会を開催するものであり、講師料 80,000 円の全額の補助が申請されている。

(部会の判断について)

部会においては、他の補助金は受けていないのかという質問があったが、補助金は受けておらず、図書館の一室を優先的に借りられたことがあるのみとのことであった。また、今後はコミュニティ会議事業の助成制度も活用してほしいとの意見があった。地域にとって有意義な事業であることから、部会として、とくに異存なしとした。

(意見交換)

議長：なにかご意見はあるか。では、部会と同様、区民会議としてとくに異存なしとする。

次の は検討状況の中間報告として説明が行われた。とくに質問・意見はなく、今後申請がなされた段階で、運営部会での意見交換を待つこととなった。

中山道浦和宿二七の市実行委員会「中山道浦和宿二七の市」

(団体からの事業概要の説明)

今回で 3 回目の開催を迎えることとなった。前回は夜も開催していたが、今回は夕方までに時間を短縮する一方、開催日を土曜日、日曜日の両日に増やした(これまでは土曜日のみ)。また、区民参加型の催しとなるよう、ステージショーの出演者や写真展の出品を募ったり、声をかけたりしているところだ。昨年と同様、区民中心のフリーマーケットも行う。

前回は食事のできる場所が少なかったという意見があったことから、区内の飲食店の出店を増やすようにしている。また、来場者に豚汁のような温かいものを振舞えないか、検討している。

次の は、区の「まちづくり推進事業費」から補助金を交付し、活動していただくことになった旨が事務局から報告され、とくに質疑応答もなく、了承された。

平成 17 年度浦和区防犯ネットワーク協議会の活動について

(事務局からの説明)

防犯のまちづくりを推進するため、自治会連合会や PTA、青少年育成会、商店会、浦和警察署などの団体により「浦和区防犯ネットワーク協議会」が 8 月 4 日に設立され、互選により会長には小原委員が就任することとなった。この協議会では、防犯ネットワーク大会の開催、ポスターやチラシ等による啓発活動、防犯パトロールを行う際のベストの製作・配布、関係団体との連携や情報交換など、防犯まちづくり活動を行うこととしている。そのため、区のみちづくり推進事業費から補助金 2,919,000 円を交付することとした。

(2) コミュニティ会議の別称について

「コミュニティ会議」の別称について、運営部会長から部会での検討経過の報告があった。

(運営部会長の報告)

9 月と 10 月の 2 回の運営部会において、皆さんからお寄せいただいていたコミュニティ会議の別称を検討した。しかし、決めるというのは非常に難しく、団体の別称とするのか、活動内容をわかりやすく伝える名称にするのか、メインとなる名称をつけるのか、サブ的に補完する名称とするのか、意見の分かれるところであり、本日の全体会に先立ってお送りした資料のとおり、3 つの語群に分けてキーワードを皆さんにお示しし、この場で決定していくこととした。このうち、B の「まちづくり」はかならず入れることにして、A の 3 つのキーワードから 1 つ、C の 5 つのキーワードから 1 つを選びたい。

なお、浦和区の広報などでは「コミュニティ会議(まちづくり活動団体)」というように、B と C の組合せで記載しており、その方法で十分わかるという意見も委員さんから頂いている。

A	B	C
魅力ある	まちづくり	グループ
交流とにぎわいのある		活動団体
夢を広げる		サポーター
		推進活動
		事業

以上の説明を踏まえて、A 群、C 群のキーワードを選定するために投票を行い、多数決により「魅力あるまちづくりグループ」に決定した。

(3) 各部会からの報告について

企画部会からの報告（大工原）

（視察先の選定について）

区民会議の視察先を選定するにあたり、「景観」という切り口から行く先を検討した結果、都市としての性格や相手先のスケジュールなどから千葉県市川市を視察先とすることにした。お手元の資料には、市川市のまちの性格や景観づくりの取り組みが紹介されている。読んでみると、落ち着いた住宅街、文化のまちというのが基本的な性格で、古い歴史のあるところが残されているとはいえ、景観という面からは際立った特徴があるわけではないなど、似ているところがある。また、さいたま市ではこれから景観基本計画の策定がはじまるが、市川市ではすでに景観法をにらみながら計画づくりをしており、条例制定を考えているなど、参考になると思う。視察のルートは、先方の提案もあって添付の資料のとおりで、市役所で担当課からお話を聞いたのち、地域住民との協働による景観まちづくりのモデル地区になっている行徳地区の視察と、地域住民の方との意見交換を行うことにした。

（東口市民広場の提案について）

10月のはじめに、山本副部長とともに東口再開発事務所をたずね、担当者に話をうかがった。

- ・設計業者は内定しているが、設計作業はまだである
- ・国土交通省の補助を受ける部分があるので、今年度中には設計図を決めてしまう。
- ・そのため、12月までに意見をもらえれば、検討の余地がある

とのことだった。部会では12月までに意見をまとめて提示できるよう、話し合っていく。11月10日、12月10日と部会を開催し、12月17日の区民会議に諮って提案としたい。

ただ、駅前を利用するのは浦和区民のみではないので、浦和区の区民会議だけで話し合った結果を要望として出すのがいいのかという問題もある。そのため、区民会議のメンバーが周囲の人に意見を聞くのもよいと思う。それらの結果をとりまとめて、担当課に対し、12月中に意見を提示していく。

議 長：東口の広場に関する提案は、どこまで反映されるのかという思いもあるが、黙っていてもどんどん行政の考えで進んでしまうので、意見を伝えることは大切だ。今日、この場の短い時間で意見を頂くのは大変なので、図面など参考資料を皆さんにお送りするので、意見を戻していただきたい。では、続いて広報部会の報告をお願いします。

広報部会からの報告（柿塚）

（区民便利帳について）

区が今年度発行する「区民便利帳」について、区民会議の意見を反映したものにするため、印刷業者にも部会に出席してもらいながら、作成を進めている。現在、東副部長が中心となって、印刷業者が作成した文案を読みやすいものに見直す作業をしているところである。来年1月または2月に発行される市報さいたまと一緒に配布される予定であり、間に合うようにがんばりたい。

(コミュニティの広場、区民会議だよりについて)

この2つについては、すべきことが多いため、2つのプロジェクトチームに分けることとし、「コミュニティの広場」は私柿塚をチーフに中島委員と藤倉委員、「区民会議だより」は東委員をチーフに丸山委員と吉岡委員で分担することとした。

「コミュニティの広場」については、基本的には前回は踏襲することとし、コミュニティ会議同士の交流・発表会を北浦和西口からすぐの「ふれあい館」で、来年2月中に開催する方向で進めていきたい。

そこで、「コミュニティの広場実行委員会」を立ち上げる必要があり、今日、皆さんにおはかりしたい。昨年は広報部会委員を中心に、区民会議の正副会長とコミュニティ会議推薦委員の方々に委員となっていたいただいた。今回も同様に、ご参加いただきたい。さらに、昨年大変貢献してくださった委員にもご参加をいただきたい。よろしいだろうか(会場から拍手)。では、よろしく願います。

また、実行委員会の会則によれば、区民会議委員以外の参加も可能なので、前回の実行委員で元区民会議委員の方々にもお声をかけていきたいと考えている。

区民会議だよりの発行は来年3月を予定しており、今後、内容をつめていきたい。

議 長：ただいまの報告について、なにかご質問、ご意見は。とくにないようなので、(4)その他に移りたい。

(4)その他

- ・「(仮称)さいたま市防犯のまちづくり推進条例(案)」を配布した。10月11日から11月10日までパブリックコメントを行っているので、ご意見や感想などがあれば、同封の意見用紙にご記入の上、ご提出いただきたい。
- ・都市局作成のまちづくり広報誌「korekara(これから)」の配布依頼があった。ご一読いただきたい。
- ・コミュニティ会議認定団体「アシスト浦和21」から要請があり、アシスト浦和21が開催する「第2回わくわく浦和いきいき祭り」の案内チラシをお配りした。ふるってご参加のほど、お願いしたい。
- ・第4回議事録(案)を配布した。修正等があれば、今月中にご連絡をいただきたい。
- ・次回区民会議全体会は12月17日(土)午後2時から、さいたま市民会館うらわ503で開催する。

以上